

第60回工業振興月間

ヒトモノカネの

壁を

どう乗り越えるか!

原材料高や人手不足は、中小企業にとって大きな経営課題です。この喫緊の課題に対し、人材育成・設備投資・補助金を有効に活用した「稼ぐ力」の強化や、自己変革に取り組む企業事例の紹介を中心に第60回事業を実施します。

会場
(視察会除く)

東大阪商工会議所 4階大会議室

東大阪市永和2-1-1 (近鉄・JR河内永和駅下車 東側すぐ)

参加費
(すべて)

無料



記念
講演会

7/2 水

14時～16時

定員 70名



- ◆苦境を克服したブランドイメージの再構築
- ◆徹底した選択と集中
- ◆将来を見据えた不易流行の経営哲学と改革

「ゴホン!といえば」でおなじみ 倒産寸前だった龍角散を救った経営革新



創業150年を超す龍角散。その8代目社長として就任した藤井氏が94年に入社した当時、財務状況は火の車。社内に強力な抵抗勢力がいた困難な状況からいかに会社を再建したのか。今回の講演では藤井氏の経営哲学や改革への思いをお伝えします。

株式会社龍角散 代表取締役社長 藤井 隆太氏

プロフィール：1959年 東京都生まれ。桐朋学園大学音楽学部研究科を修了後、小林製薬、三菱化成工業（現・三菱ケミカル）を経て、1994年龍角散入社、1995年代表取締役社長に就任。世界で初めて開発した服薬補助ゼリー「らくらく服薬ゼリー」、「おくすり飲めたね」のヒット、基幹商品「龍角散」の姉妹品「龍角散ダイレクト」の投入などで就任時の売上規模に匹敵する累積赤字を一掃し経営再建。売上を就任時の7倍まで伸ばす。東京生薬協会会長として2017年度 薬事功労者厚生労働大臣表彰受賞。



事例
研究会

7/9 水

14時～16時 定員 30名

躍進的な事業をめざして
～わが社の補助金活用成功事例～



補助金を活用した設備投資により、生産性の向上や新製品開発に取り組む事例を学ぶ。

事例1

「誰でも簡単に、質の高い商品
を提供できる」ビジョンの実現

中辻金型工業株式会社 (東大阪市長田西)

代表取締役 中辻 隆氏



事例2

木製玩具でBtoC事業に
取り組み、世界を目指す

大徳木管工業株式会社 (東大阪市大湊東)

代表取締役 岩川 宏治氏



※上記事例発表の他、各種補助金制度も併せてご紹介いたします。

上記記念講演会、事例研究会を皮切りに、視察会等、今回も「経営にプラス」になる
様々な事業を実施します。詳細は、右記QRコードをご覧ください。



令和7年度
東大阪市補助金事業
大阪府小規模事業経営
支援事業費補助金事業